

「手形培地」で付着菌検査

検査の目的・ねらい

- 自主的衛生管理の確立の為に
「手洗い」方法の確認と見直し
 - ➡ 手からの汚染・感染リスク低減
新人の衛生管理教育
- ※抜き打ち検査で手洗い効果のチェックにも有効

検査の流れ

- ➡ 検査対象の菌の手形培地を準備します。(一般生菌数・大腸菌群)
- ➡ 通常、検査は利き手を調べます。
- ➡ 24時間培養し、判定を行います。
- ➡ 検査結果は 手形培地の画像と、
【清潔・軽度の汚染・汚染・重度の汚染】の4段階でご報告します。

◆ 培地は「冷蔵」保管です ◆

(一般生菌数用) 手形培地による検査の状態

《 手洗い前 》



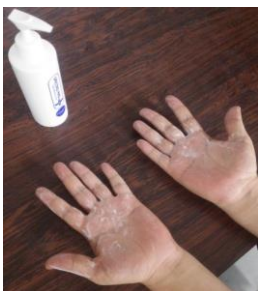
汚染

《 手洗い後 (石鹸+消毒) 》



清潔

弊社で行っている講習会では、
手洗浄チェッカー「てあらいくん」を使用し、
洗浄状態の確認も行っております。



- ➡
- ①専用のオイルを手に塗り、通常の手洗いを行います。
 - ②その手を「てあらいくん」に入れます。
 - ③手洗いが不十分だと、洗い残ったオイルが白く浮かび上がって見えます。



手指はさまざまなモノに触れます。
細菌の感染ルート源として大変
重要な管理ポイントになりますので
「手洗い」の確認は必要です。
是非お役立て下さい。

株式
会社

九州保健ラボトリー

Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuho.co.jp>